

林業普及現地情報
2013-35号(通算214号)
平成26年1月10日
二戸農林振興センター林務室
記述者 伊東茂敏

浄法寺漆の普及宣伝について

二戸農林振興センター林務室では浄法寺漆振興の一環として、青森県八戸市において、地域経営推進費で製作した漆塗り建築資材のサンプル展示や浄法寺漆器、浄法寺漆のPRパネル等を使った普及宣伝活動を行なったので紹介します。

1 八戸で開催された青森県産材フェア「もりのめぐみ展 in はっち」での普及宣伝

二戸市・久慈市・八戸市の三圏域連携懇談会の取組みとして、平成25年11月9日(土)～10日(日)の2日間、八戸ポータルミュージアム「はっち」1階の「はっちひろば」において、二戸農林振興センターでは漆塗りの内装材サンプル(柱)や漆に関するパネル、漆掻道具等を展示し、PR活動を行ないました。

今回は、二戸市うるし振興室の職員にも参加していただき、来場者からの漆に関する様々な質問にも対応しました。

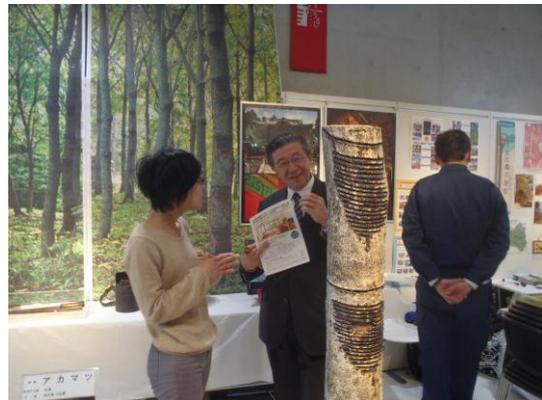
来場者からは、漆塗柱の価格や漆塗り作業の工程・内容や依頼したら現地へ来て漆を塗ってくれるのか等の質問がありました。また、既に浄法寺塗りの御椀を使っているよという方も多数いらっしゃいました。

浄法寺の漆が日光の社寺や中尊寺金色堂、京都金閣寺の修復に使用されていることに驚く方がいらっしゃる一方で、来場した家具職人からは風合いが理想的、自分も使ってみたい等の感想などを聞くことが出来ました。

三八地域には、漆に興味を持っている方が多く、この2日間で1万人を超える来場者がありました。中には2日間浄法寺漆コーナーに来場された方もいて、多くの質問や意見をいただき、浄法寺漆をPR出来たのかなと手応えを感じました。

2 おわりに

来年は、南部地方の漆と題して三八地域の漆情報も考慮した出展を検討し、県境を越えた浄法寺漆の普及宣伝の活動を展開したいと考えています。



二戸市職員が八戸市副市長に説明



浄法寺漆コーナーの様子